

プログラム及び抄録

開会の辞

1. 『ホップ ステップ ホワイトニング♪』

○里中奈津美 川崎真由子（ステーション診療所）

二人で取り組んできたホワイトニングの症例を報告させていただきます。
至らない点など多々ありますが、お手柔らかにお願いします☆

2. 『自家歯牙移植 ～欠損補綴における移植の位置づけ～』

○葭矢啓介（ステーション診療所）

欠損補綴の中で、条件さえ整えば最もMIだと考えられる移植について、
自分が行った実際の症例を交えて報告させて頂きたいと思います。

3. 『咬合崩壊』

○岩井孝憲（Mio診療所）

2年目にやったフルマウスケースです。
咬めるようになってかなり太られた患者さんを見て下さい。

4. 『トゥースポジションを考慮した治療計画の立案』

○上中茂晴（難波診療所）

治療にLongevityを獲得しようとする、トゥースポジションの変更、
つまり矯正治療が必要になる事は多いと思います。
しかし患者が受け入れにくいことも事実です。
そんな数少ない矯正治療を交えた治療を行ったケースを報告させて頂きます。

5. 『Full Mouth Re-Construction』

○壽山達也（ステーション診療所）

入職4年目の始め頃から手掛けた症例です。5年目の終わりにFinalを
迎えましたので、報告させて頂きます。写真の撮り方等、不慣れな点多々
ありますが、皆様のこれからの日々の臨床への示唆となれば幸いです。

6. 『咬合崩壊ケースへの機能的アプローチ』

○岡本聡（難波診療所）

咬合再構成を行う上で、自分なりに苦労したこと、難しかったことを報告させていただきます。

7. 『包括的歯科診療 ～将来像を見据えた一口腔単位ごとの治療～』

○植村泰輔（難波診療所）

今日インプラント治療はごく一般的な、かつ必要不可欠な治療オプションの一つとなっており、インプラントによりもたらされる恩恵は莫大なものがある。しかし、患者に強いる経済的負担、時間的負担、時には肉体的負担も大きい。ため、我々歯科医師にとって、インプラントを口腔内に長期に渡って機能させることが厳命となる。

今回インプラント治療において、局所、一歯単位の治療ではなく、長期予後達成のため様々な方法を用い一口腔単位ごとの治療を行った症例を提示する。

8. 『喜ばれることに喜びを』

○宮本祐太（Mio診療所）

まずは大前提として患者さんが納得し、満足してくれること。そのためにできるだけシンプルかつリスクが少なくなるように治療方針を考えました。要所での診断をポイントに箸休め的に聞いてください。

9. 『パシフィコ横浜 2010』

Special Guest

○森太一先生（元難波診療所医長 現在木原歯科医院勤務）

※紹介文

今回は久しぶりのCCということでOBの森先生にお越しいただきました。小室歯科から世界へ、極上の歯科レベルを皆さん肌で感じてください。

閉会の辞